

# 『九州百名山』へ登ろう

## 熊本・天主山(1,494m) 行程表/九州百名山

6月3日(日)

金立SA下P 5:30==市役所西向い 5:45==諸富支所 6:00==みやまIC 6:40==御船IC 7:40==登山口 9:00~9:20...天主の舞台(1194m) 10:50~11:00...小松神社分岐 12:00...天主山(1494m) 12:50 昼食 13:20...小松神社分岐 13:50...天主の舞台 14:00~14:10...登山口 15:10~15:30==通潤山荘 16:10 入浴 17:00==御船IC 18:00==みやまIC 19:00==諸富支所 19:40==市役所西向い 19:55==金立SA下P 20:10

◎解散お疲れ様でした

行動時間約 5.0 時間 参加費 8,000 円 体力度 4.0  
標高差 約 900m リーダー:池田

集合場所・時間:金立SA下P 5:30、市役所西向い 5:45、諸富支所 6:00

入浴予定:国民宿舎通潤山荘浜の湯(TEL:0967-72-1161)

緊急連絡先 池田携帯電話:080-1772-8359 ガイドクラブ電話:0952-37-0577

### 天主山について

熊本県にある天主山は、京丈山や雁俣山の東方に位置している。内大臣林道を使えば比較的楽に登れる天主山ですが、椎矢峠からのルートはまだ修復されていません。鴨猪川のルートから行くこととなりますので歩く時間が長くなり、体力度「4」としています。

御船ICを降りて、「鮎の瀬大橋」ルートを利用して登山口を目指します。鮎の瀬大橋は平成12年に完成したことで、天主山への新しいルートになりました。

今回は、このルートを使って鴨猪川登山口(カモイガワ)から登り始めます。登山口の取り付きには何本ものロープが下がっており、いきなりの急坂から始まります(写真右)

登山路も急勾配で、カシなどが茂る薄暗い尾根筋を進みます。標高1,000mを過ぎる地点には、大きなブナの木があり、ここから明るい広葉樹帯になります。

やがてヒノキの植林地が左に見えると、すぐに1194mのピークで「天主の舞台」と呼ばれている所に出ます。

南は視界が開け、山頂が望まれる。一度1150mのコルに下り、山頂からの尾根に取り付く。稜線にはブナなどの巨木が目立つ。程なく小松神社との合流点を右に見送り、急登を頑張ると石灰岩が現れる。5月の連休頃にはポツポツとヤマシヤクヤクを見ることが出来るが、山頂までは滑りやすい急斜面が続く。



◎登山口周辺にトイレはありません。

キャンセルにつきましては、登山開始日の3日前から50%かかります。当日のキャンセルは全額返却出来ませんのでご了承ください。

料金に含まれるもの=交通費・温泉代・保険料・ガイド料

料金に含まれない物=昼食・行動食・集合場所までの交通費

登山口までの道路の関係で定員8名までとさせていただきます

## 装備表

			日時		
装備品名	チェック	必要度	装備品名	チェック	必要度
レインウェア		◎	地図・コンパス		○
帽子		◎	タオル・バンダナ		○
手袋(防水)		◎	トイレトペーパー		◎
スパッツ		○	ゴミ袋 ビニール袋		◎
防寒具		○	時計		◎
ストック・ステッキ		○	健康保険証又は写し		◎
ザックカバー		○	デジタルカメラ		△
緊急用品・医療品		○	非常食・行動食		○
水筒・サーモス		◎	弁当		◎
ヘッドランプ		◎	マグカップ		△
携帯電話		○	レジャーシート		△

